

A 単元案の概要

テーマ
私たちの学校へ、学院祭へようこそ！
目標
学習レベル 1-2 今まで学習したことを、最大限に生かし、学院祭の様子をできるだけわかりやすく紹介する。
コミュニケーション能力指標
自分と身近な人びと 1-a 名前（姓名）や属性を言ったり、尋ねたりできる。 学校生活 1-a 学校の名前や所在地を言ったり書いたりできる 1-d 学校のことについて、口頭でやり取りできる。 1-e よく使われる教室用語を聞いて理解したり、わからないときは、そのことを伝えたりできる。 1-g 自分が学習している科目名や学校の施設名を書いて伝えることができる。 2-a 学校内のどこに何があるかについて、口頭でやり取りできる。 2-b 学校の簡単な概要を説明した、簡単な資料を作ることができる。 2-d 学校のスケジュールについて、口頭でまたは書いてやり取りできる。 日常生活 2-c 日常生活の様子（忙しい、楽しいなど）について、会話できる
学習シナリオ
「私たちの学校へ、学院祭へようこそ。」
言語運用レベル 2 聖母被昇天高校では、今年度秋から日仏高校ネットワーク・コリブリの交換留学生在が3週間来校することになった。また以前からフランス Bordeaux の姉妹校とは隔年ごとにお互いの学校を訪れ、文通など様々な交流が行われている。そこで、3年生のフランス語クラスでは、フランス人高校生たちに日本の学校生活をよりよく知ってもらうため、学院祭を紹介する動画を作成することにした。 まず、3~4人ひと組のグループを作り、学院祭のトピックの中から各グループが自由にテーマを選択する。次に、学院祭、学校に必要な語彙と表現を教師があらかじめいくつか提示し、それを生徒が調べ学習する。動画作成の際に語彙リストを活用する。また、動画作成過程で必要になった語彙・表現を追加した語彙リストを提出する。 見本となる動画を生徒が視聴した後、動画作成のルールを与える（動画時間、全員参加、言語材料は極力既習事項から、BGMをいれる）。その後、動画の構成について話し合い、シナリオを作成してグループの中で担当を決定する。シナリオは教員の添削を受け、生徒はシナリオの発音練習をする。各グループで撮影し、編集を行う。完成した動画を生徒が教員に提出し、教員がDVDを作成する。 その後のフォローアップとして、DVDを留学生などの関係者に送り、見てもらう。自分のグループの動画に対してのコメントを訳しまとめて提出する。活動報告の記事を（コメントのまとめも含め）作成し、学校ブログに掲載する。
総括的評価
相手のことを考えてフィードバックをもらえるような動画を作成する。 できるだけ正確で自然なフランス語を話す チームワークよく、互いに助け合いながら完成をめざす

C 目標分解表

「私たちの学校へ、学院祭へようこそ。」

タスク	小目標	中目標	大目標
グループを作る	紹介すべきテーマを考 える。 動画の完成形をイメージ する。	作業前準備をする。 動画に関する全体像を把 握する	学校（学院祭）の紹介動画 を目標言語で作成する。 *** 状況設定 *** コリブリで来る交換留学生 に、学校に馴染んでもらう ために学校紹介（学院祭） の動画を作成し、 DVD にしてプレゼントす る。 また、Bordeaux の姉妹校、 交換留学生の高校に DVD を送り、視聴した感想のコ メントをメールでもらう。
テーマを決める			
見本となる動画を見る。			
効果的な映像演出を話し 合う			
** 形成的評価 ** 話し合った内容を指定の用紙に記入して提出する。			
入れたい内容を決める。	プロットを作成する。	シナリオを作成する。	
入れたい内容の順番を決 める。			
時間配分を決める。			
役を決める。			
絵コンテを作る。			
語彙リストの単語を辞書 で調べる	紹介するテーマに必要な 語彙がわかる。		
* 形成的評価 * 語彙リストの提出・2学期中間テスト内で語彙リストからの単語テストをする			
1)挨拶、お礼の表現の導 入	挨拶ができる、お礼が言え る	シナリオを作成する	
2)時刻、天候の表現の導 入	時間、天候の表現ができ る。		
3) 東西南北の表現の導 入	日本全体から学校の位置 を説明することができる。		
4) 誘いの表現の導入	誘いの表現ができる。		
5) 楽しい、面白い、おい しい、すばらしいなどの 気持ちの表現の導入	気持ちや感想を表現する ことができる。		
6) 何をしているか、何を するか、これは何か、な どの表現	テーマの概要を説明する ことができる。		
7)「これは〇〇です。△ △のために使います」な どの表現の導入	物事の用途を説明するこ とができる。		
** 形成的評価 ** 作成したシナリオの提出			
フランス語で話す	大きな声で、正確で流暢な	動画を作成する。	

	発音ができる。		
にこやかに話す。	表情や体全体で感情を表すことができる。		
感情を表情、体全体で表す。			
* 形成的評価 *			
発音チェックを教師から受ける			
楽しそうに、かつ分かりやすく演技をする。	興味を惹くような演技をすることができる。		
動画の撮影をする。	テーマにあった必要な動画を取ることができる。		
動画の編集	プロットに沿って、編集することができる。		
映像効果の挿入			
適切に字幕を挿入する。	適切に字幕を挿入することができる。		
効果的に BGM を選択することができる。	効果的に BGM を挿入することができる。		
効果的に BGM を挿入する。			
*** 総括的評価 ***			
動画の提出			

D.指示文

今度来日するコリブリ交換留学生や、Bordeaux 姉妹校の人たちに日本の学校生活をよりよく知ってもらうため、学院祭を紹介する動画を作ります。グループ別にテーマを決めて、以下の条件にあった動画を作ってください。

条 件

- 時間は2分以上4分未満にします。
- 説明文は自分たちで考えて作りましょう。
- 説明文は今まで習ったことを使って作りましょう。
- メンバー全員が説明を含め、すべての過程に参加しましょう。
- 学校外の方々も見られることを前提に作りましょう。

E ルーブリック

テーマ「私たちの学校, 学院祭へようこそ。」

	「目標以上」×4	「目標達成」×3	「目標まであと少し」×2	「もっと努力しましょう」×1
シナリオの出来 ×2	文が正確に書けていて、適切に接続詞が用いられている。	文が正確に書けていて、言いたいことが伝わる。	文の作り方にやや誤りはあるが、文章全体で言いたいことが伝わる。	文のつくり方に間違いが多く、伝えたいことが伝わらない。
動画の工夫	編集されていて字幕(対象言語)や音楽が効果的に入っている。さらに、映像効果が施されている。	編集されていて、字幕、音楽が効果的に入っている。	編集されている。	編集なされていない。
内容の的確さ	テーマに沿ったものが紹介できていて、はじめの言葉と終わりの言葉がある。さらに、ストーリー性がある。あって見る人の興味を惹く。	テーマに沿ったものが紹介できている。さらに、はじめの言葉と終わりの言葉がある。	テーマに沿ったものが紹介できている。	何を紹介しているのかわからない。または、テーマに沿った紹介ができていない。
発音・声の大きさ	発音が正確で聞き取りやすい。さらに流暢である。	発音が正確で聞き取りやすい。	発音が正確だが、声が小さく聞き取りづらい。または、声ははっきり聞こえるが、発音の正確さにややかける。	何を言っているのかわからない。
先生の出した条件を守っているか	動画時間の過不足-1、提出期日が守れなかった -1、メンバー全員が話していない -1			

F 証拠としての成果物

1. 計画表 (B4 サイズ)

学院祭を紹介しよう! -presentation de la fête du lycée-

今度来日する交換留学生の留学準備を手伝うために日本の学校生活を紹介する動画を作ります。今回は学院祭をモチーフにします。グループ別にテーマを決めて、以下の条件にあった動画を作ってください。

条 件

- 時間は2分以上4分未満にします。
- 説明文は自分たちで考えて作りましょう。
- 説明文は今まで習ったことを使って作りましょう。
- メンバー全員が説明を含め、すべての過程に参加しましょう。
- 学校外の方々もご覧になることを前提に作りましょう。

メンバー	
タイトル	
テーマ	
実施計画	

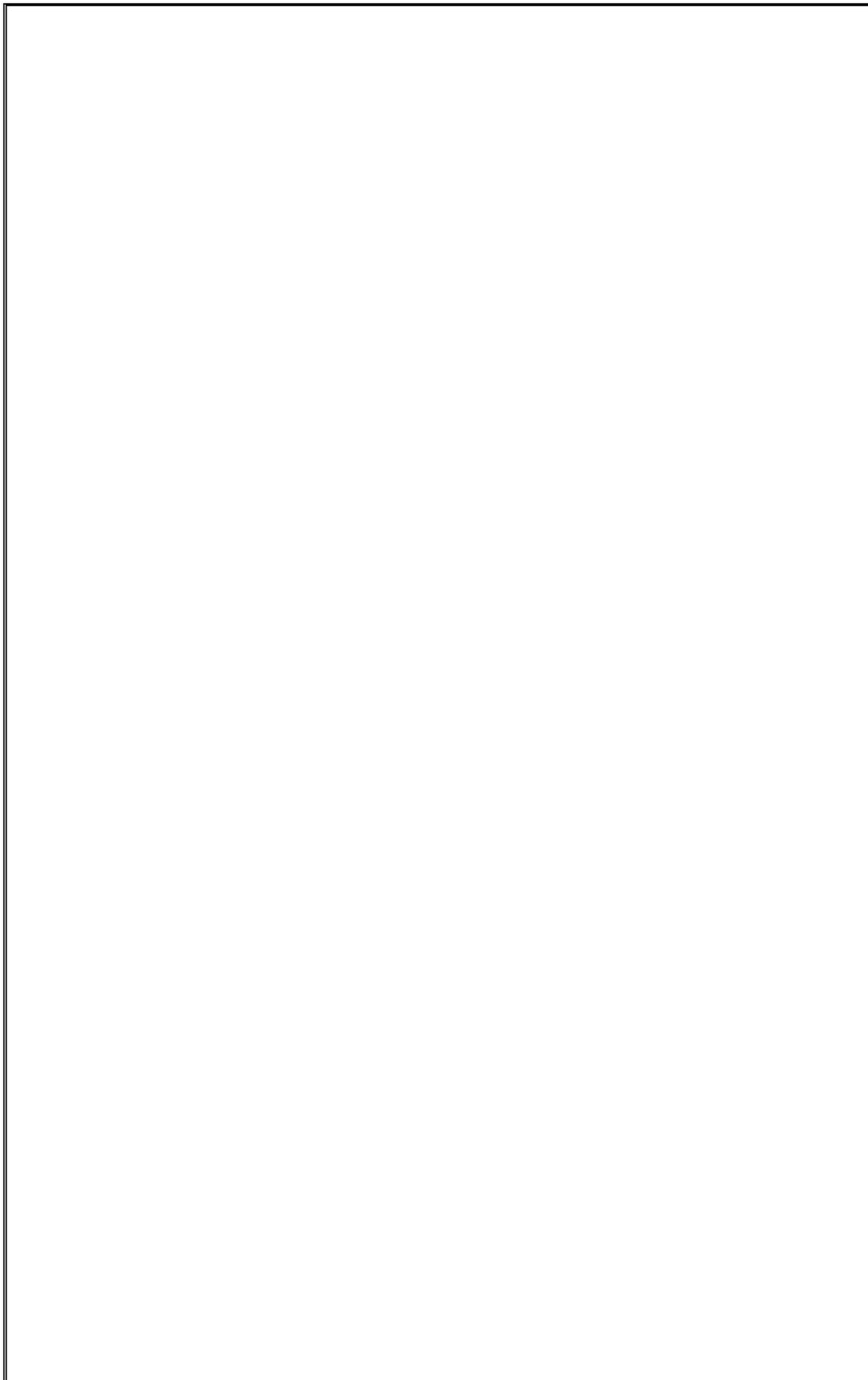
2. シナリオ作成 (B4サイズ)

“私たちの学校、学院祭へようこそ” —le scénalio :シナリオ—

groupe(

)nom(

)

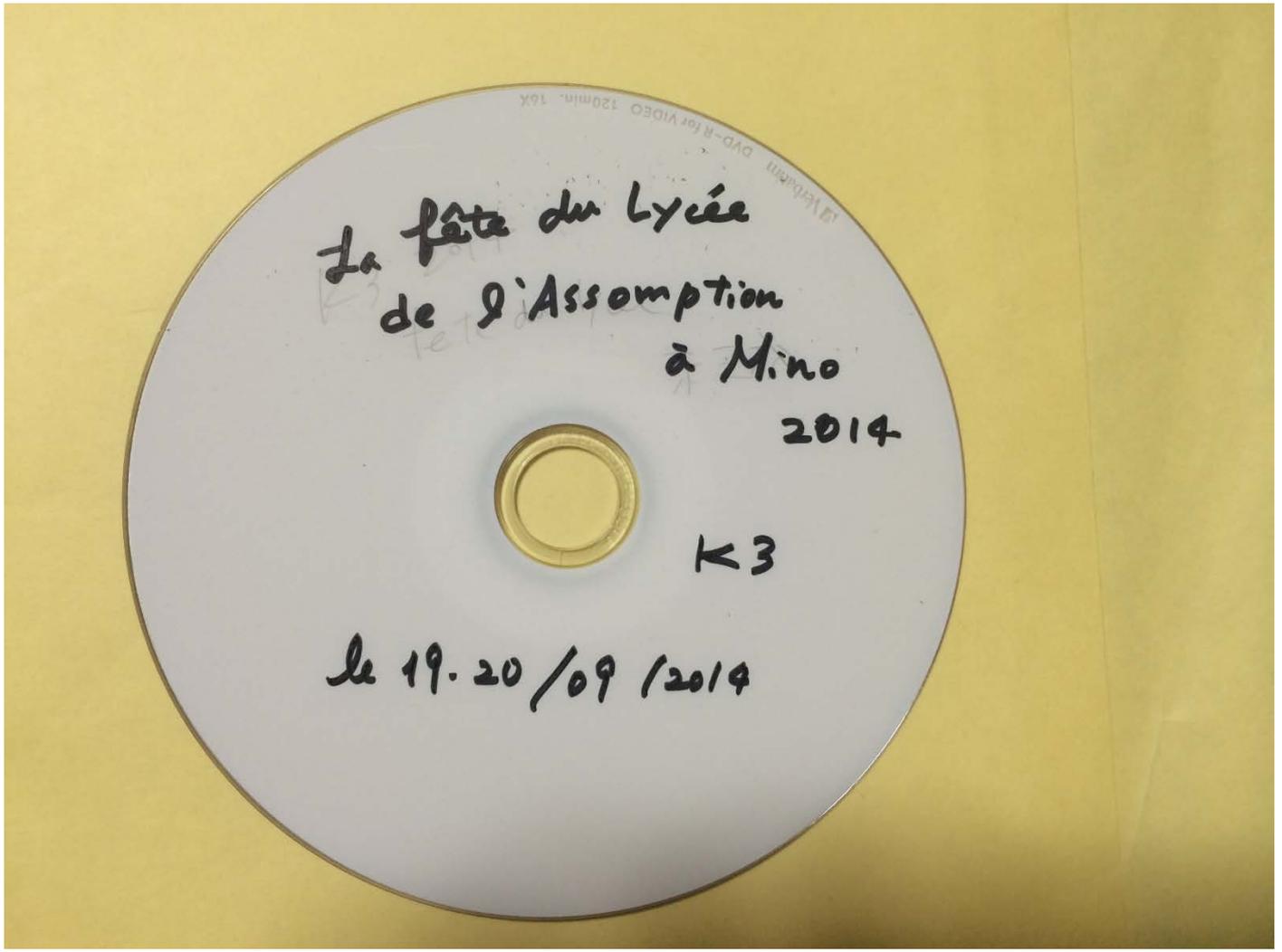


3. 私たちの学校へ、学院祭へようこそ」語彙リスト

Groupe() nom()

français	f/m	japonais
la fête du lycée		
une gymnase		
lycéen(ne)		
lycée		
collégien(ne)		
collège		
calligraphie		
art		
exposition		
maison hontée		
boisson		
chapelle		
gâteau		
biscuit		
concert		
journal		
choeur		
activité de volontaire		
bible		
activités de club		
club de cuisine		
photo		
cérémonie du thé		
anglais		
théâtre		
sciences naturelle		
expérience		
musique légère		
littérature		
recueil		
français		
comité		
produits de Mino		
comité exécutif		
produits de Tohoku		
danse		
ballet		

4. 完成 DVD



G. 学習者の個人的特性に対する対応

1. 学習者の個人的特性

- ・クラスの他の学習者がもっているような学習リソースを何ももたない
- ・学習意欲が極めて低い
- ・行事参加をほとんどしない
- ・共同作業ができない

2. 対応

高1高2と学校行事に全く参加せず、不本意に学校に来ているような雰囲気。パッと見は、おとなしく静かな雰囲気だが、気に入らないと教員にも友人にも暴言をはいたり、当校には今までいないタイプ。

高3になり、クラスの仲間たちが最後だからと一生懸命呼び掛け、1学期末の合唱コンクールには参加。

グループを作る際、座っている席で偶然のように教師が分けたが、あえて4人ではなく3人のグループになるように、また他の二人はある程度フランス語能力がある生徒になるよう考えながら分けた(少しでも人数が少ないほうが責任を持つ部分が大きくなるため)

2学期が始まり、少し落ち着いた雰囲気もあったが、学院祭初日の舞台発表見学時に態度が悪く、学院祭2日目は参加できなかった。

グループ3人のうちのもう一人が学院祭2日目、大学入試だったこともあり学院祭で予定していた撮影ができず、他のメンバーが教師に相談してきたため、3人をバラバラに他のグループに割り振ることも考えたが、それでは途中参加になるので、このグループのみ、一週間後の校外学習(嵐山)の動画を作ることにする。

グループ作業を行うとき、あえて、こちらから特別に声をかけることはせず、どのように友人たちに協力していくかを見ていった。フランス語の知識はほとんどないが、グループのメンバーが単語調べなどの役割をふったり工夫をしたため、PCルームでの作業もなんとか参加し、動画にも登場できた。

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (A-1/A2 との対応) 学校紹介に関する語彙・表現がわかる。(A-1) 母語と比較してその違いに気づくことができる (日本語にあって対象言語にない単語に気づくなど)。(A-2) 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (D-1/D-2 との対応) 対象言語圏の学校のあり方を知る。(D-1) 日本の学校と対象言語圏の学校のあり方との違いを知る。(D-2) 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (G-1/G2 との対応) ・YouTube などに掲載することのリスクを理解し、公開しない理由がわかる。(G-1) 共同作業を行う上で、自分の役割を認識する 共同作業を行う意義を理解する
できる	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (B-1/B2/B3 との対応) 学校紹介のテーマについて説明することができる。(B-1) コメントを読んで理解することができる。(B-1) 直訳できない内容について言い換えて説明することができる。(B-2) 説明しきれない事柄について映像を使って伝えることができる。(B-3) 表情豊かに紹介することができる。(B-3) . 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (E-1/E2/E-3/E-4 との対応) 日本の学校と対象言語圏の学校のあり方との共通性や相違性を説明できる (E-1) 相手の学校にない事柄をわかりやすく説明する。(E-2) 学校紹介動画を作成することで、日本の学校のあり方を再認識する。(E-3) 校則や文化などの相違点を予測することができる。(E-4) 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ中の該当する箇所 (H-1/H-2/H-3 との対応) グループのメンバーと共同作業を行い、自分の役割を責任をもって果たすことができる。(H-1) インターネットを使い、動画作成に BGM など必要な情報を得る (H-2) 動画の作成と編集をすることができる。(H-3)。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力しながら対象言語で学校紹介動画を作成する。 動画を作成することで、対象言語話者の高校生たちからコメントをもらう。 		

三 連 携	連携1：・自分の学校を紹介することで学習意欲を高める。 ・留学生、フランスの高校に対する興味関心を高める 連携2：・対象言語の既習事項とつながる。 ・情報の授業とつながる。 連携3：・学校ブログで全校生徒、保護者、また学校外の人々とつながる。